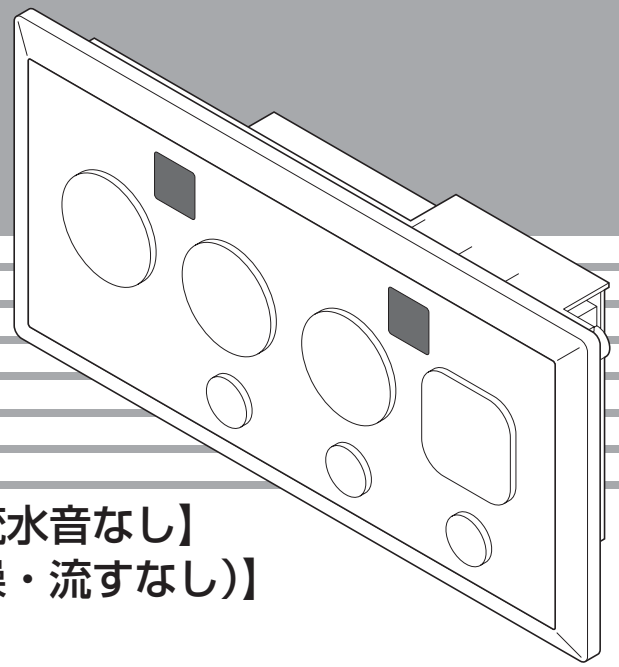
PCW-1209A(08080)

施工説明書

INAX

シャワートイレ用

大型埋込リモコン（100V式）



CWA-116【流す・流水音付（乾燥なし）】　CWA-120【乾燥・流す・流水音なし】
CWA-117【流す付（乾燥・流水音なし）】　CWA-123【流水音付（乾燥・流すなし）】
CWA-119【乾燥付（流す・流水音なし）】

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を取り付けてください。
●施工後は必ず試運転を行ってください。
●日本国内専用品です。海外でのご使用はお避けください。

【工事店さまへ】

●お客さまに必ず本書と取扱説明書（保証書付）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

【お客さまへ】

●本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また商品または商品の取付けに関する相談は、お買い求めの販売店にご相談ください。なお、（株）INAX メンテナンスでも商品の取り付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

商品・施工方法についてのお問い合わせは

（株）INAX　**お客さま相談センター 商品相談窓口 ナビダイヤル**
TEL　0570-017173
平日「9：00 ～ 19：00」対応、土日・祝日「10：00 ～ 18：00」対応（年末年始、夏期休暇は除く）
※ナビダイヤルは、PHS・IP 電話などからはご利用できません。TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

目　次

安全上の注意（必ずお守りください。）.....2
商品仕様 3
部品の確認 3
配線要領図 3
取付前の確認 4
施工方法：パーテーション壁 6
施工方法：湿式工法壁（タイル壁）.....10
施工方法：乾式工法壁（タイル壁）.....13
かくし操作設定一覧.....15
シャワートイレを併設する場合 16

安全上の注意（必ずお守りください。）

リモコンを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

⚠ 警告　取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 警告

浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。
※感電・火災の原因になります。

水場使用禁止

リモコン本体部や配線に水や洗剤をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。

水かけ禁止

●通電中は絶対コネクタにさわらないでください。
●雷が発生しているときは、電源線に触れないでください。
※感電の原因になります。

接触禁止

本体・配線が故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ）した場合、ただちに漏電遮断器を切り、修理を依頼してください。
※感電・火災の原因になります。

指示実行

リモコンコネクタを接続するときは無理な力を加えないでください。
※コネクタが破損して火災の原因になります。

禁止

コネクタをはさんだり、傷つけたりしないでください。
※故障・感電の原因になります。

禁止

交流 100V 以外では使用しないでください。
※火災・感電の原因になります。

禁止

電源線はφ 1.6mm またはφ 2.0mm の銅単線をご使用ください。
※対応配線仕様以外の配線（より線、より線＋端子など）で接続されますと接続不良により接続部が過熱し、器具・配線の溶損・焼損・火災に至ることがあります。

指示実行

⚠ 警告

電源線を端子台に差し込むときは、先端をそろえて確実に奥まで差し込んでください。
※差し込みが不十分だと、火災の原因になります。

指示実行

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。
※感電・火災の原因や、異常作動しケガをすることがあります。

分解禁止

⚠ 注意

表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

水場使用禁止

電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事士が行ってください。
※ショート・感電の恐れがあります。

指示実行

万一の際の危険防止のため、電源の一次側に、高感度高速形漏電遮断器（定格感度電流 15mA 以下）を設置してください。
※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

指示実行

施工前のご注意

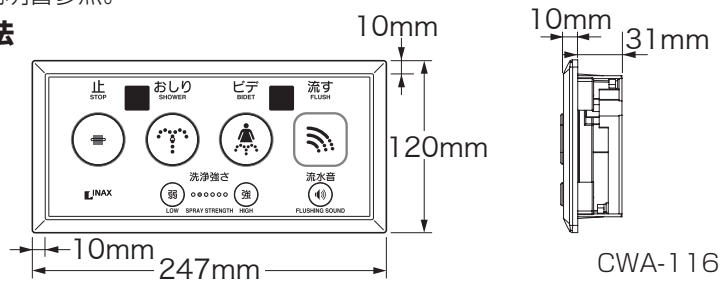
●パーテーションに取付けの場合は、あらかじめ加工が必要なため、次の確認をしてください。
　●埋込部深さが 36mm 以上確保できること。
　●パーテーションの中に電源線（現場手配）を通せること。
●電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。
●電源線は、φ 1.6mm またはφ 2.0mm の銅単線をご使用ください。
●万一の際の危険防止のため、電源の 1 次側に漏電遮断器を設置してください。
●水道工事と電気工事は、十分工程を打ち合わせの上行ってください。
●電気器具ですから、水をかけないよう注意してください。
●インバーター照明下でリモコンを使用した場合、トイレ環境条件によりシャワートイレが作動しないことがあります。
●太陽光線や照明灯などが直接リモコン受光部に当たらないようにシャワートイレを設置してください。

商品仕様

品番	CWA-116	CWA-117	CWA-119	CWA-120	CWA-123
寸法	縦 120mm ×横 247mm ×奥行き 10 mm				
埋込部	縦 95mm ×横 217mm ×奥行き 31 mm				
電源	AC100V　50/ 60Hz（直結）				
消費電力	常時：0.5W 以下、作動時：2.5W 以下				
使用温度範囲	0℃～ 40℃				
リモコン信号	4 種類（現場変更可能）				

※詳細は取扱説明書参照。

リモコン寸法

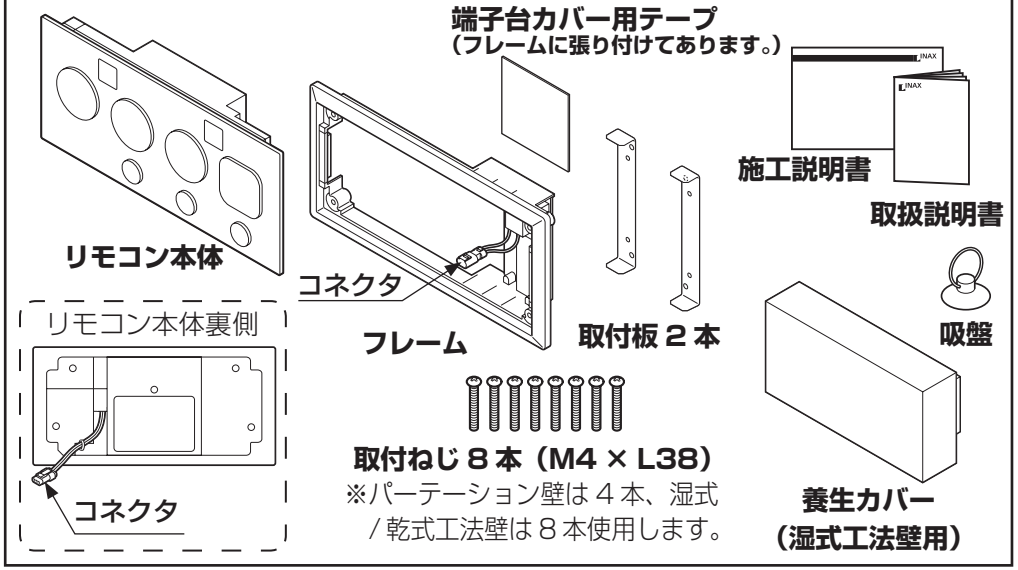


CWA-116

部品の確認

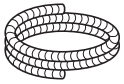
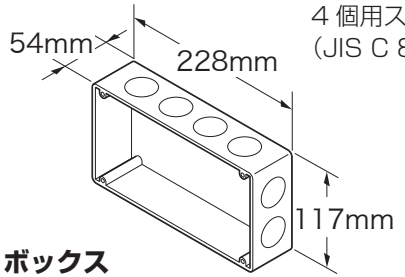
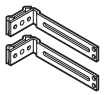
リモコン本体と付属品

開梱後、リモコン本体と下記付属品が全て揃っていることを確認してください。

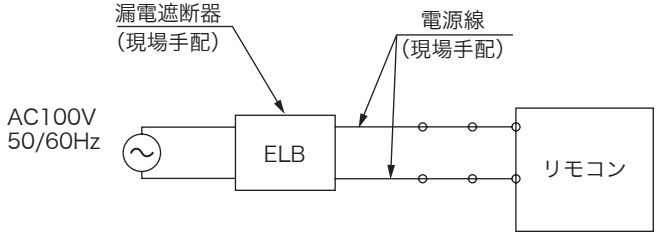


現場手配品

壁の工法に合わせて以下のものをご手配ください。（○：手配必要、－：手配不要）

現場手配品		壁の工法		
		パーテーション	タイル壁	
			湿式	乾式
電源線	VVF ケーブル 2 芯 Φ 1.6 またはΦ 2.0 銅単線	○	○	○
 **電線管**	合成樹脂製可とう電線管 （JIS C 8411 呼び 16）	－	○	○
電線管コネクタ	合成樹脂製可とう電線管用付属品 （JIS C 8412 呼び 16）	－	○	○
 **ボックス**	4 個用スイッチボックス （JIS C 8435）	－	○	○
 **ボックス支持金具**	電設用資材（市販品） ※軽量間柱のサイズに合わせて ご用意ください。	－	－	○

配線要領図



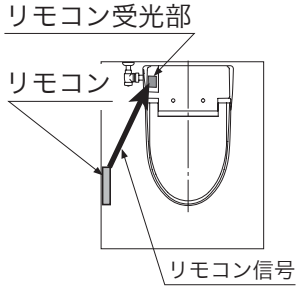
取付前の確認

リモコンの取付位置

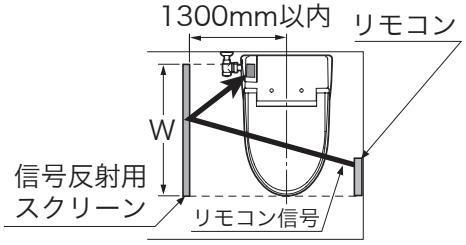
リモコンはできる限り、シャワートイレ本体のリモコン受光部側の壁に取り付けてください。

●必ず取付位置で使用する状態（便座に座る、便器前に立つ）にて動作確認を行ってから取り付けてください。
●リモコンからの信号がシャワートイレ本体のリモコン受光部に届く範囲内に位置決めして、取り付けてください。
●リモコン受光部側の壁の前に洗面台などがあり便器からの距離が遠い場合は、シャワートイレが動作しない場合があります。このようなときは便器中心から1300mm 以内に信号反射用のスクリーン（現場手配）を設置してください。
●シャワートイレ本体の専用リモコンを併設する場合、専用リモコンはできる限りシャワートイレ本体のリモコン受光部側（本リモコンの上または前方）に取り付けてください。

受光部側の壁にリモコンを取り付ける場合

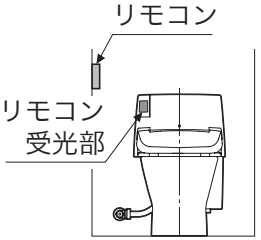


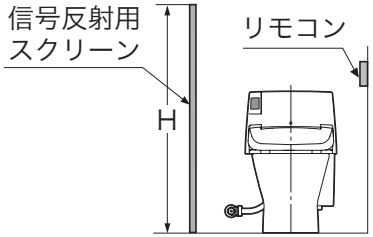
受光部反対側の壁にリモコンを取り付ける場合



W：リモコン受光部から
リモコン設置位置の幅

➔：リモコン信号の発信方向





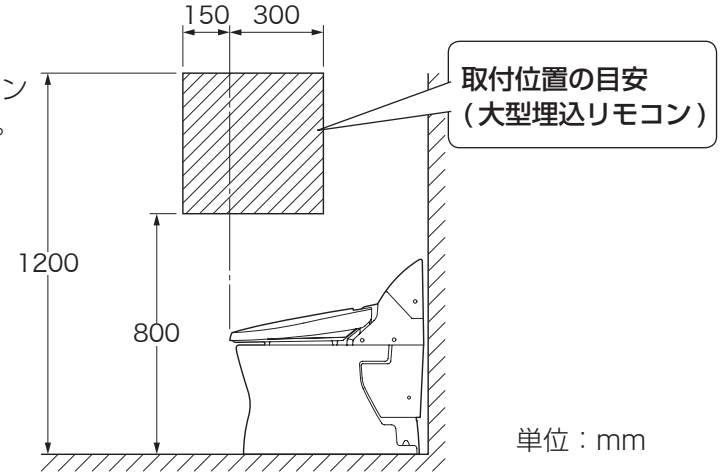
H：1100mm以上の高さ

※図の寸法は、リモコン信号を確実に受信するのに必要な寸法です。ただし、トイレ壁の仕上げや色（特に黒系の色）等により、受信条件が悪くなる場合がありますので、ご注意ください。

リモコンは操作できる範囲内に取り付けてください。

●図の取付範囲を目安に、便座に座った状態で操作しやすい場所に取り付けてください。
※シャワートイレ本体がリモコン信号を受信しない場合、障害物を確定し、その障害物を移動させます。移動が不可能であれば、リモコンの取付位置を移動させます。

図は、大型埋込リモコンの取付範囲の目安です。



単位：mm

シャワートイレを２台以上併設する場合の信号コードの変更方法は、最終ページをご覧ください。

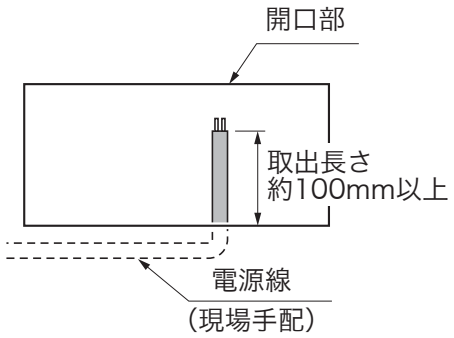
取付前の確認（つづき）

設置条件〈パーテーション壁の場合〉

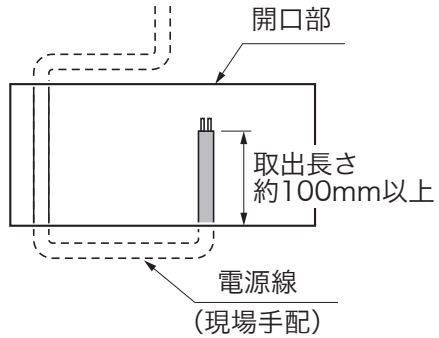
●電源線の取り廻し

電源線の取り廻しは、できる限りリモコン下部から行ってください。

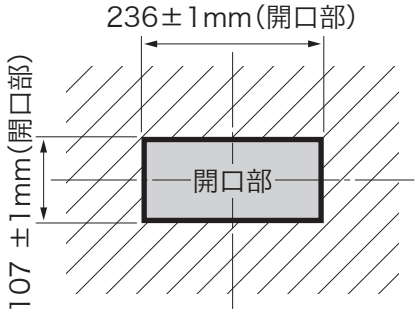
〈下からの取り廻し〉



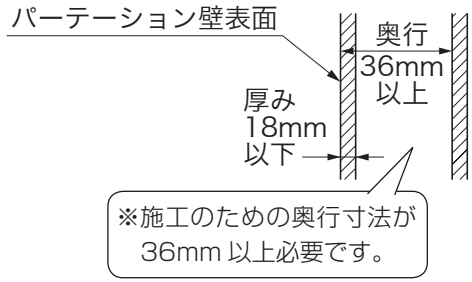
〈上からの取り廻し〉



●パーテーションの開口寸法



●パーテーションの壁厚と奥行寸法

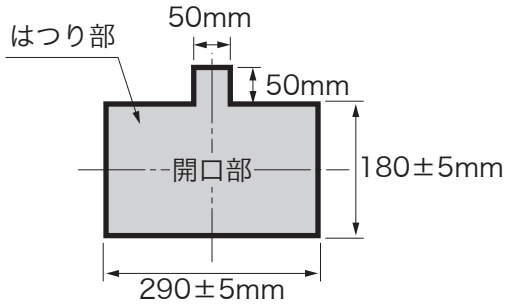


設置条件〈湿式・乾式工法壁の場合〉

●湿式・乾式壁の加工寸法

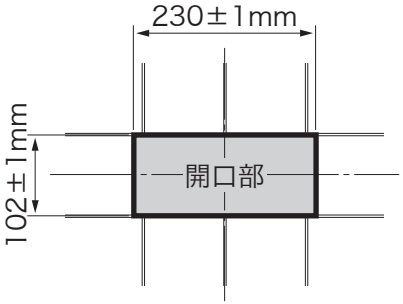
〈湿式工法壁の場合〉

奥行：仕上面より 80mm 以上

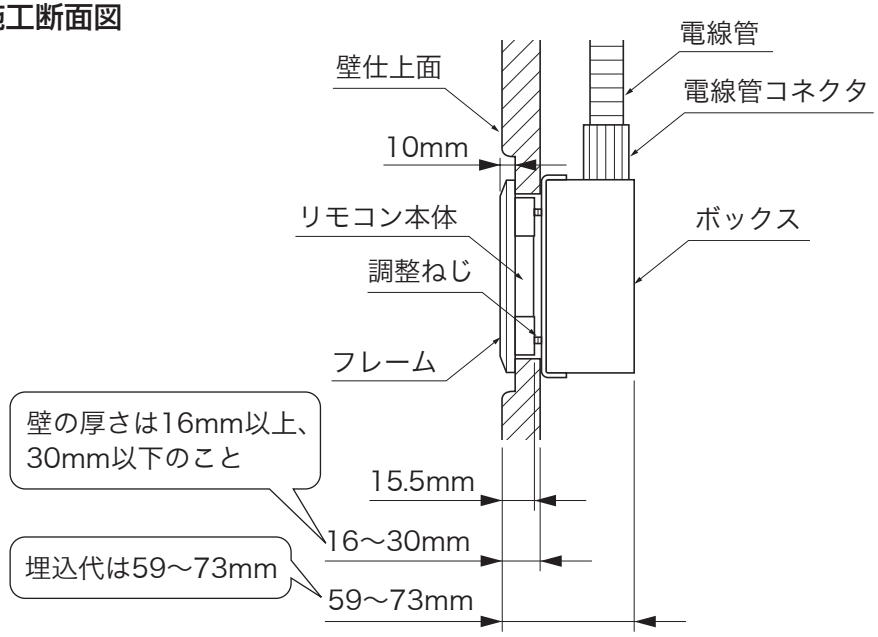


〈乾式工法壁の場合〉

奥行：仕上面より 75mm 以上



●施工断面図



施工方法：パーテーション壁

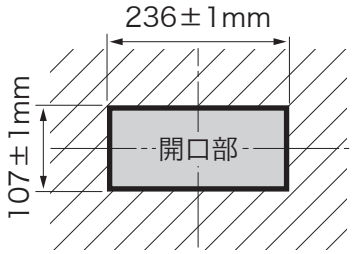
施工方法は壁の種類（パーテーション壁、湿式工法壁、乾式工法壁）により異なります。該当する壁の施工方法をご覧ください。

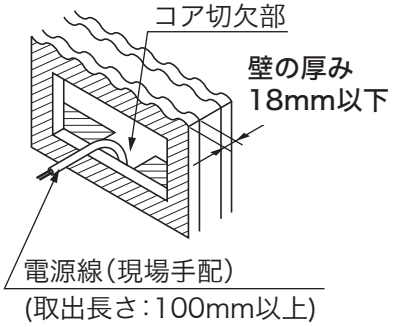
1 壁の下準備

1.リモコン取付位置に、開口部を設けます。
2.コアに電源線配線用の切欠部を設け、パーテーション内に電源線（現場手配）を通して開口部に導きます。
3.電源線(現場手配)を取り廻します。電源線は、できる限り下から取り廻して下さい。
（☞ 5 ページ）

2 電源線の接続

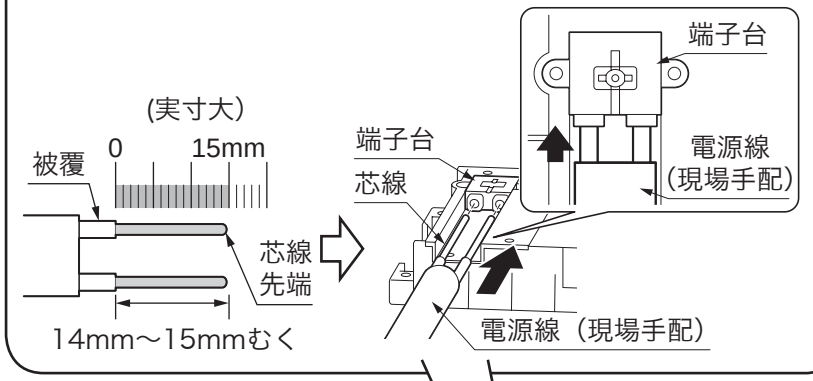
1.電源線（現場手配）の芯線先端の被覆を14mm ～ 15mm むいて、フレーム裏の端子台に芯線を奥まで確実に差し込みます。

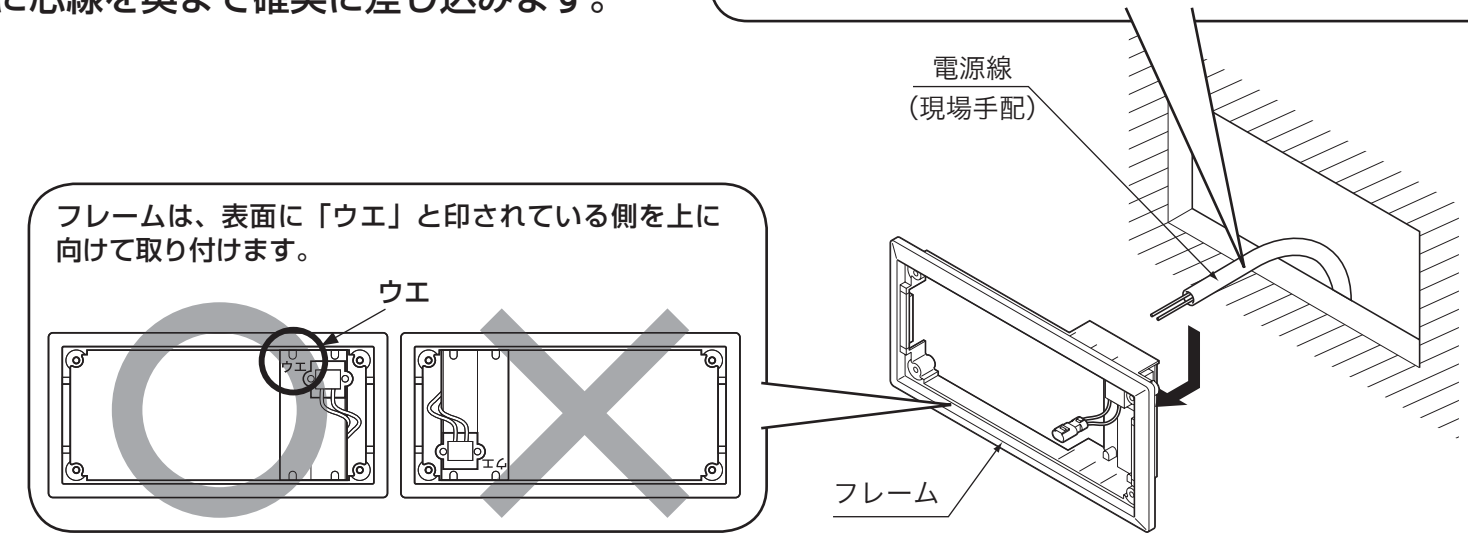




電源端子台への接続

芯線を、確実に端子台の奥まで差し込みます。





注意

- ●漏電遮断器が切られていることを確認した上で、作業を行ってください。
- ●電源線の取り廻しは、リモコン下部から行ってください。

⚠ 警告

パーテーション内部には、電源線の取り廻しに合わせて製品上面、または背面に配線や結線部を収めるための十分な空間を確保してください。これらの空間を確保できていない場合、電源線を製品で挟込み、被覆が損傷し漏電する恐れがあります。

注意

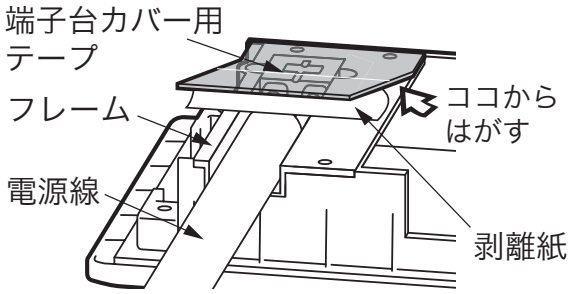
- ●電源線は被覆の破損のないことを確認してください。
- ●開口部内に他の配線（電源線等）が通っている場合は、配線被覆に損傷がないことを確認してください。
- ●電源線は開口部から最低でも 100mm 程度見えるように引き廻してください。

⚠ 警告

電源線は φ 1.6mm または φ 2.0mm の銅単線をご使用ください。

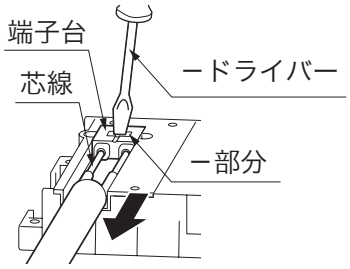
※対応配線仕様以外の配線（より線、より線＋端子など）で接続されますと接続不良により接続部が過熱し、器具・配線の溶損・焼損・火災に至ることがあります。

2.電源線を接続後、端子台カバー用テープの剥離紙をはがし、フレームに張り付けます。



電源線を外すときは

端子台のー部分をードライバーで押しながら芯線を外します。

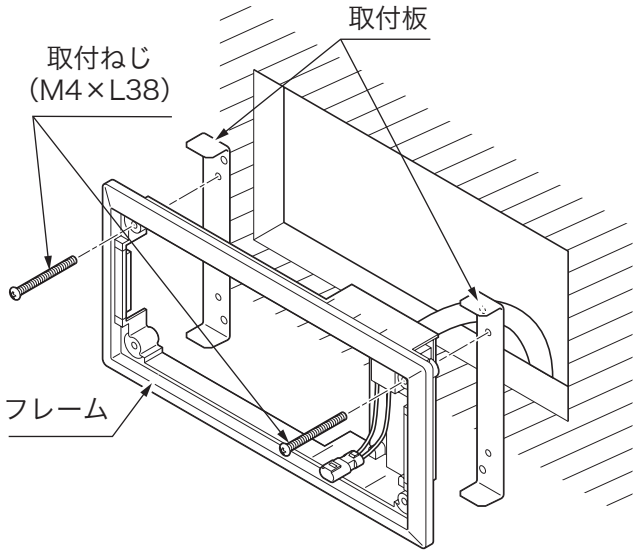


3 フレームの取付け

1.取付板の方向を確認します。

2.フレームに取付ねじを通して、取付板の上側を取付ねじ２本で仮止めします。

※下側はフリーの状態にしておきます。

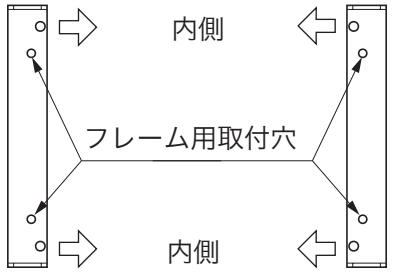


注意

取付板は、方向を確認してください。

取付板の方向

取付穴が内側になるように、合わせます。

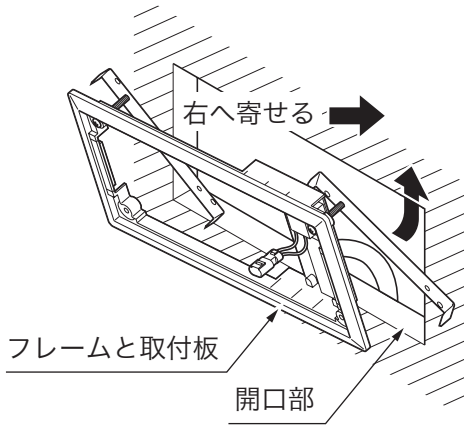


施工方法：パーテーション壁（つづき）

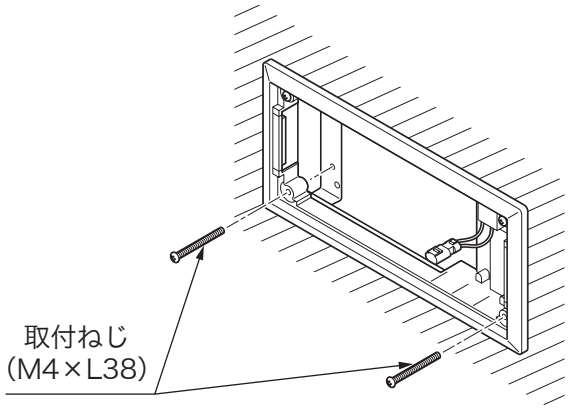
3.右側の取付板を上方向いっぱいに押し上げた状態で、フレームと共に回転させながら開口部右の内側に入れます。

4.フレームを開口部の右側いっぱいに寄せます。

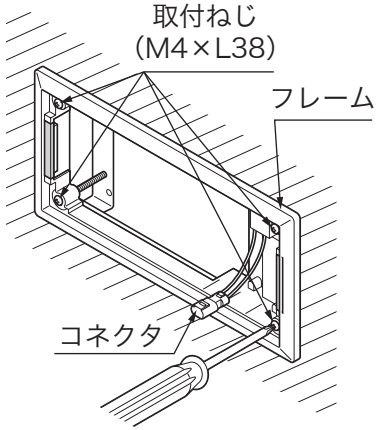
5.左側の取付板を、開口部の内側に入れます。



6.フレーム下部の取付ねじ２本を仮止めします。

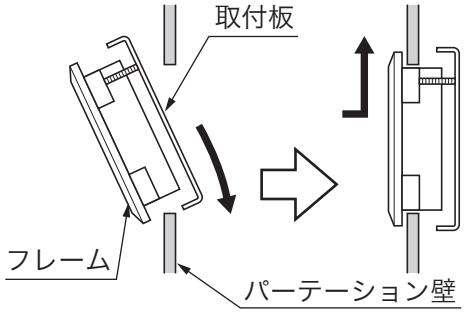


7.フレームの位置を調節した後、取付ねじ４本を均等に締め付け、フレームを壁に固定します。



注意

●取付時の断面図



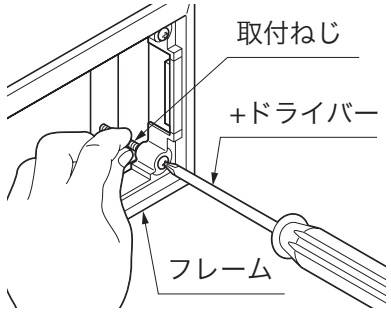
注意

●取付ねじは、必ず手締めしてください。電動ドライバーは使用しないでください。

●取付ねじを強く締め付けすぎないようにしてください。

※締め付けすぎると取付板とフレームが変形し、リモコン本体が入らない恐れがあります。

●取付ねじを指で押さえながら、＋ドライバーで締め付けてください。



⚠ 警告

リモコン本体を取り付けるまで、フレーム側のコネクタ先端をテープ等で覆ってください。指などを入れると、感電の恐れがあります。

施工方法：パーテーション壁（つづき）

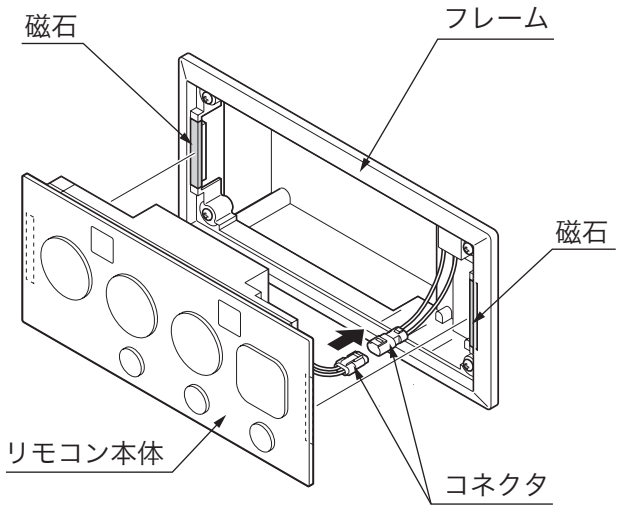
4 コネクタの取付け

リモコン本体側とフレーム側のコネクタを接続します。

5 リモコンの取付け

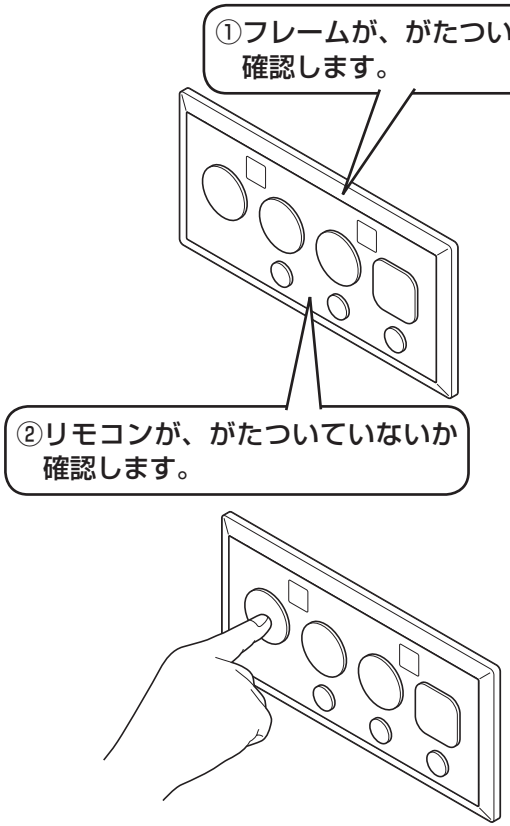
リモコン本体をフレームにはめ込み、フレーム側の磁石２箇所で固定します。

※リモコン本体はフレーム側の磁石により固定されます。



6 取付後の確認

取付けが完了した後、右の①②を確認してください。

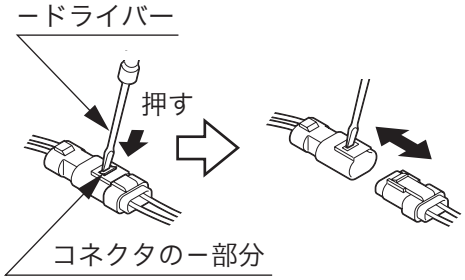


7 試運転

試運転は、シャワートイレ本体の施工説明書に従って行ってください。

注意

コネクタを取り外す際は、コネクタのー部分をードライバーで押しながら、コネクタを外します。

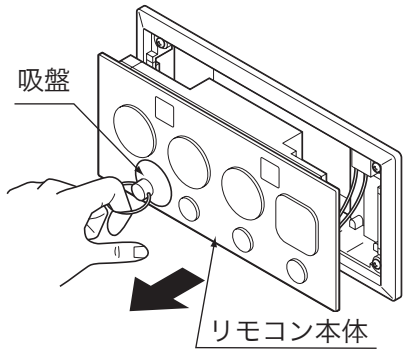


注意

- リモコン本体とフレーム側のはめ込みがきつい場合には、フレームの取付ねじを少し緩めるとスムーズに装着ができます。このとき緩めすぎてフレームがガタつかないようにしてください。
- リモコン本体とフレーム側との磁石のはまりが悪い時は、固定し直してください。

注意

リモコン本体をフレームから取り外す際は、付属の吸盤でリモコン本体下部を引っぱり出し、コネクタを外します。

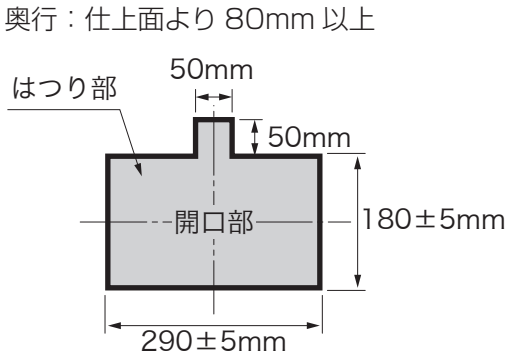


施工方法：湿式工法壁

施工方法は壁の種類（パーテーション壁、湿式工法壁、乾式工法壁）により異なります。該当する壁の施工方法をご覧ください。

1 壁の下準備

下地壁に図のような開口部を正確に墨だしし、はつります。



注意

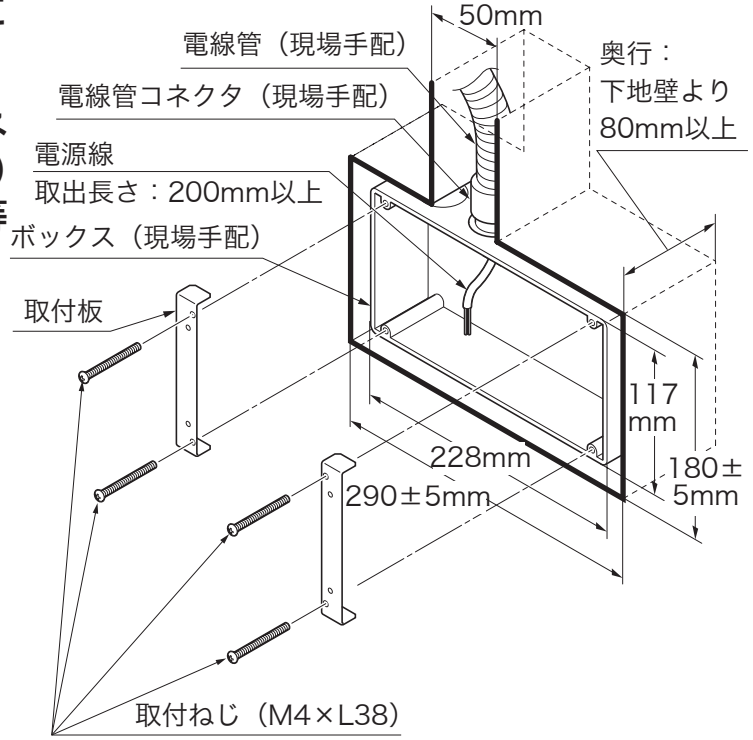
漏電遮断器が切られていることを確認した上で、作業を行ってください。

2 ボックスの取付け

1.取付板をボックス（現場手配）に取付ねじ４本で固定します。

2.ボックス（現場手配）に電線管コネクタ（現場手配）と電線管（現場手配）を取り付けた後、木材やモルタル等でボックスを仮固定します。

3.電源線（現場手配）をボックス（現場手配）内に引き込みます。



注意

取付板は、方向を確認してください。

注意

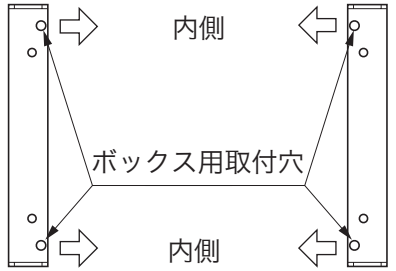
ボックスの位置合わせを必ず行ってください。

注意

- 電源線は被覆の破損のないことを確認してください。
- 電源線は開口部から最低でも 200mm 程度見えるように引き廻してください。

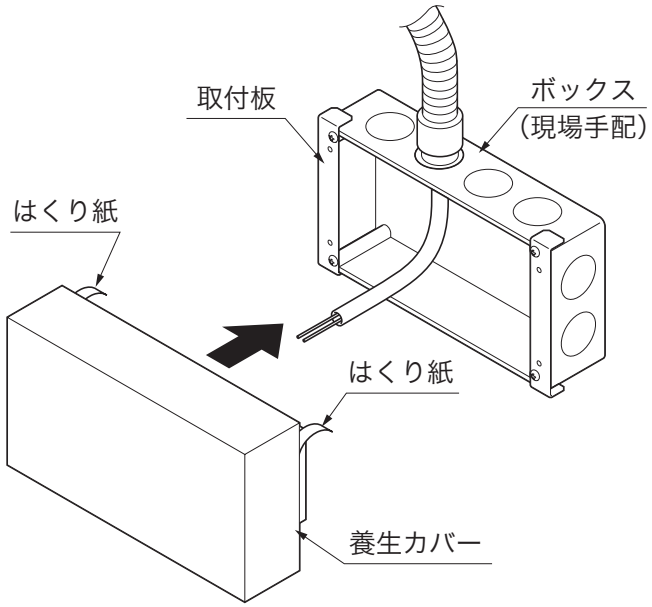
取付板の方向

取付穴が内側になるように、合わせます。



3 壁の仕上げ

1.養生カバーのはくり紙をはがして、ボックス開口部に貼り付けます。

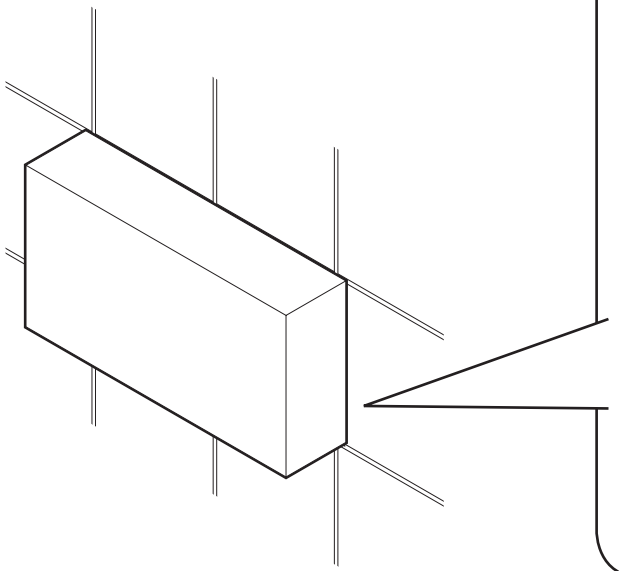


2.ボックス（現場手配）周囲をモルタルで埋め戻します。

3.下地壁にモルタルを下塗りします。

4.タイルを張付モルタルで張り付けます。

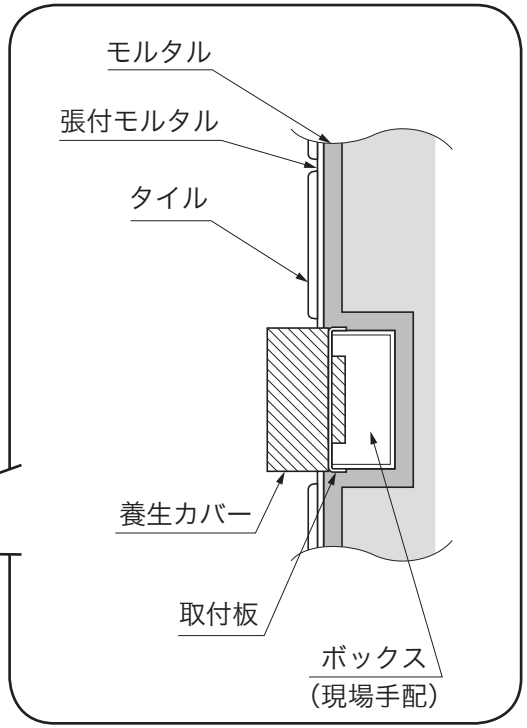
5.養生カバーを壁面から取り外します。



注意

- ●タイルの水洗いは、養生カバー取り外し前に行ってください。
- ●酸洗いは器具を傷めますのでおこなわないでください。

施工断面

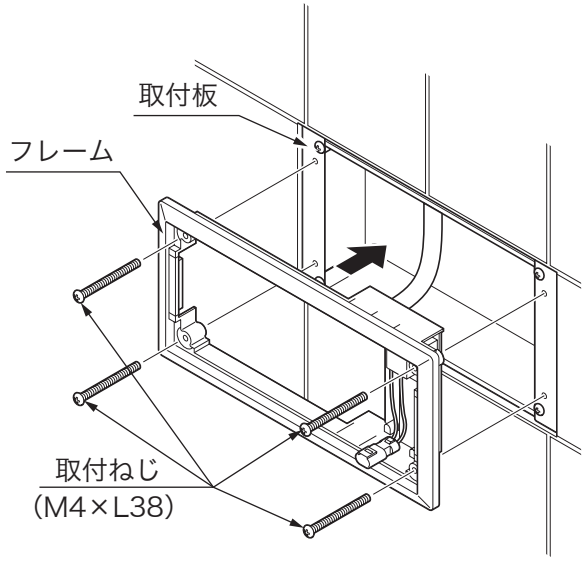


4 電源線の接続

パーテーション壁と共通です。
（☞ 6 ページ）

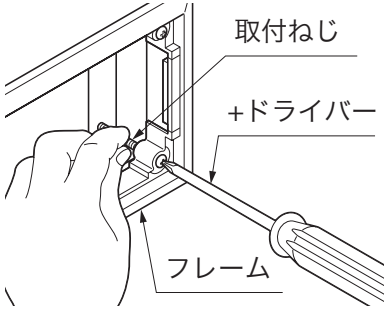
5 フレームの取付け

1.フレームに取付ねじ 4 本を通して、取付板に仮止めします。
2.フレームの位置を調整した後、取付ねじを均等に締め付けます。



注意

- **取付ねじは、必ず手締めしてください。電動ドライバーは使用しないでください。**
- **取付ねじを強く締め付けすぎないようにしてください。**
  ※締め付けすぎると取付板とフレームが変形し、リモコン本体が入らない恐れがあります。
- **取付ねじを指で押さえながら、+ ドライバーで締め付けてください。**



6 コネクタの取付け

パーテーション壁と共通です。（☞ 9 ページ）

7 リモコンの取付け

パーテーション壁と共通です。（☞ 9 ページ）

8 取付後の確認

パーテーション壁と共通です。（☞ 9 ページ）

9 試運転

パーテーション壁と共通です。（☞ 9 ページ）

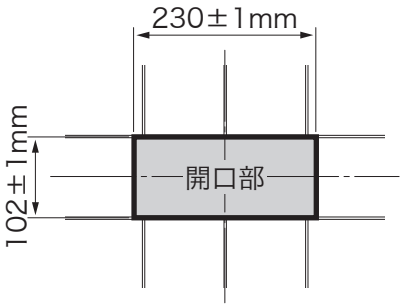
施工方法：乾式工法壁

施工方法は壁の種類（パーテーション壁、湿式工法壁、乾式工法壁）により異なります。該当する壁の施工方法をご覧ください。

1 壁の下準備

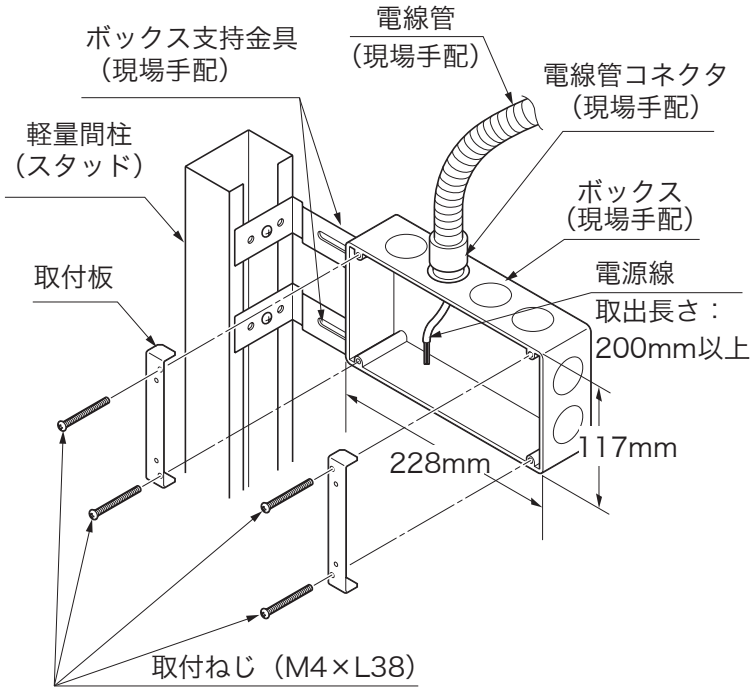
リモコン取付位置に、開口部を設けます。

奥行：仕上面より 75mm 以上



2 ボックスの取付け

1.ボックス支持金具（現場手配）を使用し、軽量間柱（スタッド）にボックス（現場手配）を固定します。
2.取付板をボックス（現場手配）に取付ねじ 4 本で固定します。
3.ボックスに電線管コネクタ（現場手配）と電線管（現場手配）を取り付けます。
4.電源線（現場手配）をボックス内に引き込みます。



注意

漏電遮断器が切られていることを確認した上で、作業を行ってください。

注意

施工のため奥行きは壁仕上面より 75mm 必要です。

注意

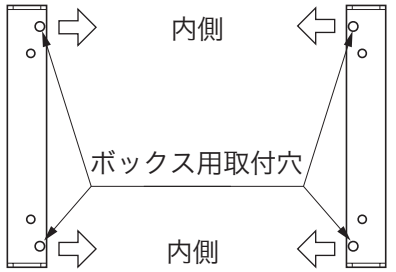
ボックスは仕上壁の開口部と位置決めをしてから固定してください。

注意

取付板は、方向を確認してください。

取付板の方向

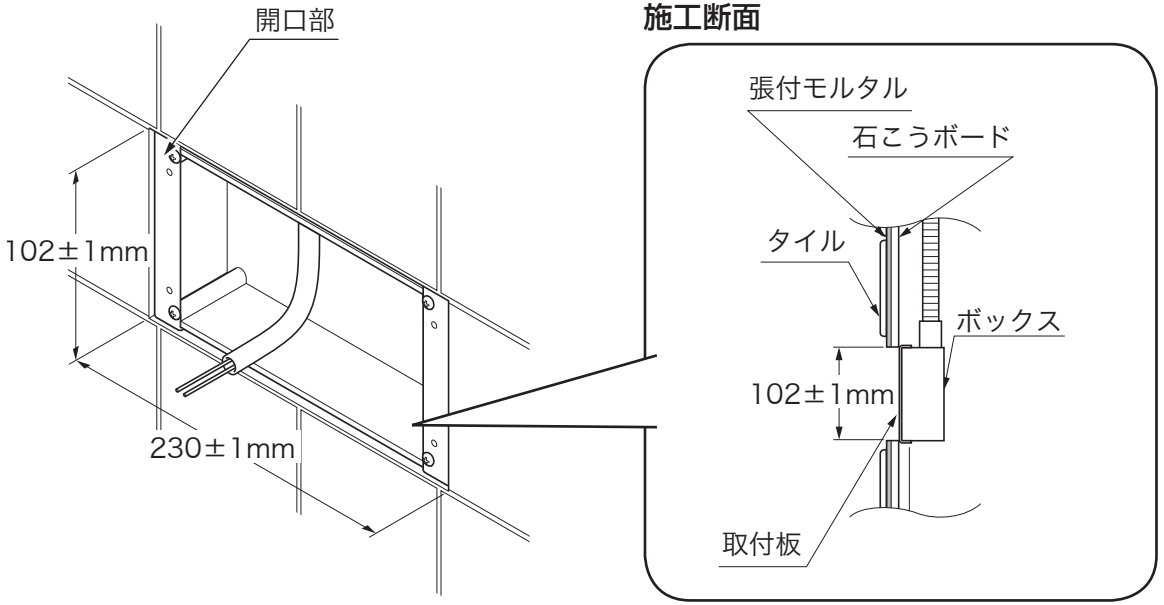
取付穴が内側になるように、合わせます。



3 壁の仕上げ

1.石こうボードなどの下地ボードの所定の位置に図の寸法の開口部を設け、下地ボードを施工します。

2.タイルを張り、開口部の周囲を除いて目地詰めします。



4 電源線の接続

パーテーション壁と共通です。（☞ 6 ページ）

5 フレームの取付け

湿式工法壁と共通です。（☞ 12 ページ）

6 コネクタの取付け

パーテーション壁と共通です。（☞ 9 ページ）

7 リモコンの取付け

パーテーション壁と共通です。（☞ 9 ページ）

8 取付後の確認

パーテーション壁と共通です。（☞ 9 ページ）

9 試運転

パーテーション壁と共通です。（☞ 9 ページ）

かくし操作設定一覧

2 個のリモコンスイッチを、同じタイミングで 10 秒以上押すことで、以下の機能設定 / 解除が可能です。

機能	内容	設定 / 解除（同じタイミングで 10 秒押す）	設定完了時の表示
節電 入 / 切（お買い上げ時：切） 参考 1 参照	シャワートイレの 6 時間または 8 時間タイマー節電（ワンタッチ節電）設定を入 / 切します。	止 STOP ＋ 強 HIGH	シャワートイレ本体の節電ランプ点灯または点滅
温水温度調整 参考 2 参照	シャワートイレ「おしり」・「ビデ」洗浄の温水温度を変更します。 1 回押すと、温度が 1 段階上がり「高」まで上がった後、「切」に戻ります。	おしり SHOWER ＋ 弱 LOW	大型埋込リモコン：設定温度に対応した洗浄強さランプが 5 回点滅 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 切 低 中 高 シャワートイレ：[K・P シリーズ] なし（シャワートイレ本体操作部で設定） [PASSO、ベーシア VX、アメージュ V・C、タンクレス] 電源ランプが一瞬点滅 [センサー大便器、サティス、サティスアスティオ、New アメージュ M] ピッ音がする
便座温度調整 参考 2 参照	便座の温度を変更します。 1 回押すと、温度が 1 段階上がり「高」まで上がった後、「切」に戻ります。	おしり SHOWER ＋ 強 HIGH	大型埋込リモコン：設定温度に対応した洗浄強さランプが 5 回点滅 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 切 低 中 高 シャワートイレ：[K・P シリーズ] なし（シャワートイレ本体操作部で設定） [PASSO、ベーシア VX、アメージュ V・C、タンクレス] 電源ランプが一瞬点滅 [センサー大便器、サティス、サティスアスティオ、New アメージュ M] ピッ音がする
フルオート便器洗浄入 / 切（お買い上げ時：入）	フルオート便器洗浄の設定（便器を自動で洗浄する）を入 / 切します。 〈フルオート便器洗浄付トイレの場合〉	入：止 STOP ＋ 流す FLUSH 切：おしり SHOWER ＋ 流す FLUSH	〈切にした場合〉 便座から立ちあがり 6 秒または 15 秒以上経っても自動で流れない。
便座ヒーターオート OFF（シャワートイレ本体設定に従う） ※ シャワートイレ本体お買い上げ時の設定はなし。 参考 1 参照	座ると自動的に便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドをおこしにくくする機能です。	おしり SHOWER ＋ 止 STOP	[PASSO、ベーシア VX、アメージュ V・C、タンクレス] シャワートイレの電源ランプが一瞬点滅 [K(CW-K43・K41・K33・K31)・P シリーズ] なし（シャワートイレ本体操作部で設定） [サティス、サティスアステオ、New アメージュ M、K シリーズ (CW-K47・K45・K37・K35)] シャワートイレからピピッ音がする
リモコン「止」スイッチ中央ランプ入 / 切（お買い上げ時：点灯）	リモコンの「止」スイッチ中央のランプ（オレンジ色）を消灯 / 点灯できます。	弱 LOW ＋ 止 STOP	リモコンの「止」ランプで確認
乾燥「低」または「中」始動（お買い上げ時：「高」始動）	温風温度を「中」または「低」から始まるようにすることができます。右の設定をするたびに温風始動温度が「中」→「低」→「高」に切り替わります。 〈乾燥付シャワートイレの場合〉	止 STOP ＋ 乾燥 DRY	リモコンの乾燥温度ランプを押して確認 乾燥 DRY ←「中」または ←「低」

参考 1 シャワートイレ本体に操作部がある機種（CW-K47・K45・K37・K35 除く）は、本体スイッチで設定します。
上表と操作方法は異なります（各シャワートイレ取扱説明書の「節電」または「より快適な機能」参照）。

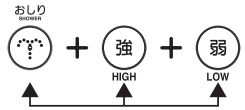
参考 2 **シャワートイレ本体の専用リモコンを併設する、または本体に操作部があるシャワートイレの場合**
温水温度・便座温度の調整はシャワートイレ本体の専用リモコンまたは操作部で行ってください。
大型埋込リモコンで各温度調整を設定後、シャワートイレ本体の専用リモコンまたは操作部スイッチで各温度を変更すると、大型埋込リモコンの温水温度・便座温度の設定は自動的に解除されます。

シャワートイレを併設する場合、信号コードを変更してください。

シャワートイレを２台以上併設する場合、お手元のリモコンで信号コードを変更してください。

〈手順 1〉リモコンの発信信号変更

(1)「おしり」と洗浄強さ「強」と「弱」を同じタイミングで10秒間押してください。



同じタイミングで 10 秒押す

(2) 全ての洗浄強さランプが点滅します。変更モードへ入ったことを示します。

(3) 変更モードの状態で、60秒以内に、洗浄強さ「強」または「弱」を２秒押し、任意の信号コードに設定します。60 秒経過すると、通常モードに戻ります。

(4) 対応する信号の洗浄強さランプが点滅したら完了です。

※信号コードの選択方法・完了時のランプ点滅パターンは、右の「信号コード表」をご覧ください。

信号コードをプラス１
（信号コードが１段階上がる）
強 HIGH
２秒押す

信号コードをマイナス１
（信号コードが１段階下がる）
弱 LOW
２秒押す

参考

●「強」スイッチで信号３まで上げた後、他の信号に変更する場合、「弱」スイッチを押してください。

●「弱」スイッチで信号０まで下げた後、他の信号に変更する場合、「強」スイッチを押してください。

●信号コード表

信号コード	「強」スイッチ２秒押し 「弱」スイッチ２秒押し スイッチを２秒押すごとに信号が変わります。		洗浄強さランプ点滅パターン（設定完了時の表示）
信号０（お買い上げ時）	⇩	⇧ 信号コードを上げる場合、「強」スイッチを押す。	洗浄強さ ☀○○○○○ SPRAY STRENGTH
信号１	⇩	⇧	洗浄強さ ○☀○○○○ SPRAY STRENGTH
信号２	⇩	⇧	洗浄強さ ○○☀○○○ SPRAY STRENGTH
信号３	⇩ 信号コードを下げる場合、「弱」スイッチを押す。	⇧	洗浄強さ ○○○☀○○ SPRAY STRENGTH

〈手順 2〉シャワートイレ本体の受信信号変更

（1）シャワートイレの電源プラグをいったん抜きます。

（2）再度、電源プラグを差し込んでから、10 秒以内に本リモコンの「止」スイッチを 10 回以上連続で押して完了です。

■ K シリーズ・P シリーズの場合

受信信号コード変更方法は以下の通りです。

（1）シャワートイレ本体の「止」＋「おしり」＋「便座」を同じタイミングで６秒押す

（2）シャワートイレ本体の便座、温水の表示ランプが全て点滅します。点滅後、60 秒以内に、本リモコンの「止」ボタンを押して完了です。

■センサー大便器の場合

受信信号コード変更方法は以下の通りです。

（1）シャワートイレ本体に向かって左側にある点検口フタを外します。

（2）シャワートイレ本体の「ノンタッチ洗浄」スイッチを５秒以内に５回以上連続で押します。

（3）点検口のランプが点滅したら、本リモコンの「止」スイッチを１回押して完了です。